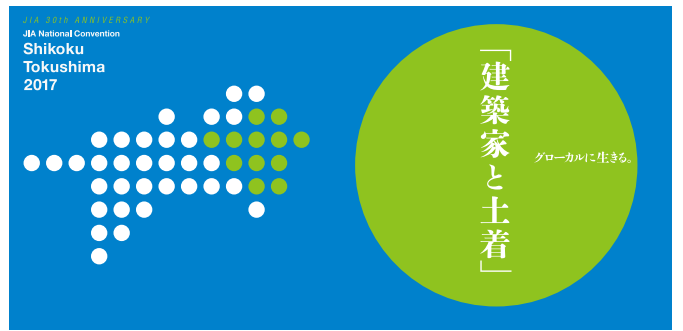


JIA建築家大会2017四国 阿波おどりの国 とくしま大会

2017年9月28日(木)、29日(金)、30日(土)
主会場：あわぎんホール（徳島市藍場浜）



見どころいっぱいの四国・徳島へようこそ

四国・徳島はこんなにも見どころいっぱい。
素晴らしい自然と風土、伝統文化や古建築、おいしい食べ物を楽しんでいってくださいね。



阿波おどり 徳島は、何といても阿波おどり。大会のレセプションパーティーにも登場します。ぜひ、みんなさんと「踊る阿呆」になりましょう！



鳴門海峡のうず潮 大潮の時には渦の直径が最大30mにも達するという豪快なうず潮。鳴門と淡路島の両方から観潮船が出ているほか、大鳴門橋の渦の道からも楽しめます。



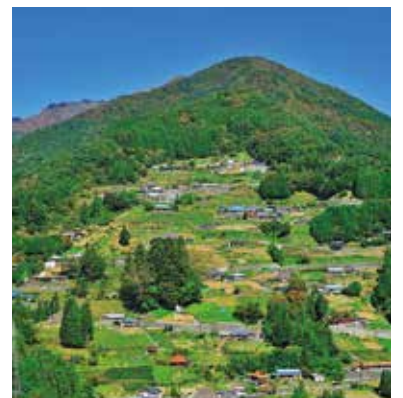
吉野川河口 四国三郎の愛称で知られる吉野川。高知県・香川県・徳島県をまたがって流れ、広大な三角州平野を形成しています。写真は河口でのシオマネキ観察会のひとコマ。



眉山夜景 眉山の見える景色は徳島市民にとって心のよりどころ。山頂までロープウェイで気軽に登ることができます。徳島平野を一望する眺望もすばらしい。



阿波人形浄瑠璃 江戸時代から明治にかけて徳島県内各地でも盛んに行われました。現存する農村舞台も多い。「阿波十郎兵衛屋敷」では、毎日人形浄瑠璃の上演が見られます。



落合集落 平家の落人伝説が残る東祖谷のほぼ中央。高低差390mにも及ぶ急傾斜地に集落を形成しています。国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。



【愛媛県】**道後温泉** 3000年の歴史を誇る道後温泉。日本書紀にも登場する、いにしえからの名湯です。共同浴場「道後温泉本館」は国の重要文化財に指定。



【高知県】**桂浜の坂本竜馬像** 広大な太平洋を臨む桂浜と、高知が生んだ英雄・坂本竜馬。四国を訪れたら、一度は行ってみたいスポットです。



【香川県】**さぬきうどん** 香川は、言わずと知れた「うどん県」。一度体験すれば分かります。エクスカージョンにも「讃岐うどん巡り」が盛り込まれるほど本気です。

写真提供：幸田青滋、徳島県観光協会、香川県観光協会、愛媛県観光物産協会、高知県観光コンベンション協会

「建築家と土着」について 地方から考える

各地のJIAメンバーに、「土着」についてのメッセージをいただきました。地域とのかかわりの中にこそ建築家の存在意義がある。それを考えることは建築家の未来を考えることに他ならない、という予感が私たちにはあります。

四国



内野輝明
(内野設計)

夏 休みやお正月、長い休みのたびに過ごした祖父母の家。水力発電のためのダムができるまで木頭スギの流送で栄えた那賀川の支流、赤松川に沿った集落にある。じいちゃんや叔父さんたちの若いころの写真に写っていた縁側は、深い軒の下でいまも変わらずにそこにある。川に向けた軒下空間は夏の暑いころには涼しくて、冬は日差しが暖かく、雨が降ると、これまたなんともいえず心地よい場所だった。先日の法事で、隠居の方からなんとなく写真を撮ってみて、あとでその写真を見て驚いた。建築を考えるときに気にしているいろいろな要素が盛りだくさんに写り込んでいる。家のさまざまなパーツだけじゃなくて、ちょっとイスが置いてある、中にいる人数分の靴が脱いである、裸電球に、犬のサム。

最近日本酒が美味しいと思う。やはり徳島の酒がうまいと思うが、なかでも那賀川水系の造り酒屋の酒がうまい。大げさやけどわが血の中に那賀川を感じる…。と、というような、ふるさとに想うノスタルジックな感慨と実作としての建築との関係から、地域、地方、国、アジア、地球、いろんな段階の土着まで、無数に積層された“ここ”と“むこう”、過去と未来の交差点。四国・徳島に集まってみんなで「建築家と土着」に向き合って、どんな話が出て、なにに気がついて持ち帰ることができるのでしょうか。

北海道



「土着」とは？改めて調べて見た。
「土着」人が、その土地に、(古くから)住みついていること。また、完全に住みつくこと。かつての蝦夷地を、松浦武四郎が「北海道」と名付けてちょうど150年。先祖代々の土地という意識はとても薄い、と感じる。
一方、13～14世紀頃から育まれていたと言われるアイヌ文化はまさに「土着」の文化で、厳しい気候に寄り添ったすぐれた暮らしの知恵と、自然、動物、植物、道具など、人間をとりまくすべての事物に“魂”が宿っているという信仰からは、学ぶべきことがたくさんある。私たちは何を得て未来に向かっていけばいいのか、先人たちの生き方や暮らし方から大いに学んでいきたい。



櫻井百子
(アトリエ momo)

東北



辺見美津男
(辺見美津男設計室)

28年前に公園のトイレ改修に携わった。公園は日本最古の公園と称され四民共楽のために松平定信によって築造された南湖公園。幼い時の釣り、泳ぎ、スケート、花見とよく遊んだ記憶の原風景で白河市の文化の象徴でもある。改修時のポイントは、3K(汚い、臭い、暗い)からの脱却、四民共楽にふさわしい親しみやすさ、茶人定信にちなんで茶室風(『建築設計資料』39「公衆トイレ」掲載)。これを機に公園のさまざまな景観形成活動を開始。活動を後押しするのは幼い時の記憶の原風景や地域のプライドである。

近畿



神戸・阪神間で生まれ、育ち、学び、暮らしてきた。神戸と阪神間は違う文化圏なので、正確に表現すると「六甲山の山麓」に「土着」してきた。「土着」してきた六甲山周辺で生み出されたものは、形のあるなしにかかわらず、身体的感覚で体の中に取り込まれる一方、見知らぬ土地を訪れた時は、形のあるなしにかかわらず、多種多様なものが発見された情報として頭の中に伝えられる。私が「土着」していない土地に仕事で関わる場合、特に形のないものをいかに発見するかが鍵であり、それは創る空間に無意識に作用しているはず。



長尾健 (長尾健建築研究所)

沖縄

沖縄の建築は土着的である。土着的といっても伝統回帰的建築を意味するのではない。現在も戦後にもたらされた鉄、ガラス、コンクリートというモダン材料を用いて、いかに快適な建築や街並みにするか、日々建築家は模索しているからだ。もはや、我々を取り巻くモダン材料は立派な土着的材料である。多種多様な方法で街並みを彩り、今に活きている。統一感などない。美しい街並みとはいえない。けれど、多種多様性に満ち溢れた興味深い街並みである。「沖縄土着的モダンCITY」は世界に誇れる環境である。



金城司 (門一級建築士事務所)

とくしま大会の“ツボ”

催し物も徳島らしさにこだわって。エクスカージョン以外にもいろいろ仕込んでいます。とくしま大会ならではの見どころをピックアップしてみました。

1. 屋外でウエルカムパーティー

(9/28 19:15～)

徳島市の真ん中、新町川と助任川に囲まれた「ひょうたん島」(無料遊覧船あり)。ウエルカムパーティーは、駐車場だった川べりを市民の憩いの場に変身させた「ボードウォーク」で開催します。「水都とくしま」らしい景観を楽しみながら、心地よい夜を過ごしましょう。(雨天時は隣接する東新町商店街のアーケードの中で開催します。ともに徳島地域会メンバーの仕事です。)



2. 建築家のバンド大会

(9/28 21:30～)

昨年の「おおさか大会」ウエルカムパーティーでの大会PR用に結成した四国支部バンド「四国への階段」、結構ウケましたよね(笑)。その場で某支部からの「来年は俺らも出る！」宣言や、海外VIPの方の「ギターも歌も任せろ！」という参戦表明などがあり、ほな大会ではもっとやりましょか～という感じです。徳島地域会メンバーのバンドもよく出入りしている居心地のよい地下のライブハウス「Music Bar Ricky」を借り切って、みなさまのツイ演奏と声援を心からお待ちしております。楽器は準備しますので飛び入りも歓迎～!!

3. 地元飲食店マップをご用意してます

徳島の夜の町…。コンパクトですが、けっこうおいしいところ、楽しいところ、ありますよ～。魚介類だけでなく、いろんなお店、もちろん我々の行きつけの店をピックアップして、「こういうところがいいんよ、こんなもんがうまいんじょ！」という、常連目線の紹介コメントもついた「濃ゆ～い」マップを準備しています。ウエルカムパーティー、レセプションパーティーなどのあと(もしくは早めにこっそりと)、行きたいお店に迷うことなく皆さんをいざなうこのマップをポケットに入れて、さあ、徳島の町へ!「濃ゆ～い」建築話で徳島の店を満たしましょう!!



タイム テーブル	9.28Thu	9.29Fri	9.30Sat
	受付 10:30~17:00 (4階大会議室)	受付 8:30~17:00 (4階大会議室)	受付 8:30~12:00 (4階大会議室)
9:00			
10:00		9:00-10:30 (一般参加可) シンポジウム3 「AI」 (1階大会議室)	9:00-12:30 (一般参加可) NPO建築文化継承機構 フォーラム 「偉大な先輩建築家に学ぶ」 (4階大会議室2・3・4)
11:00	11:00-12:30 (一般参加可) 災害対策全国会議 各支部からの情報提供 (1階大会議室)	11:00-12:30 (一般参加可) シンポジウム 「建築×子どもたち」 (4階大会議室2・3・4)	9:00-12:30 (一般参加可) シンポジウム 「建築家と土着2」 (4階大会議室)
12:00			
13:00	13:00-14:50 (一般参加可) シンポジウム1 「防災」 (1階大会議室)		
14:00		14:00-15:00 (一般参加可) 大会式典 (1階大会議室)	
15:00	15:00-17:30 (一般参加可) シンポジウム2 「環境」 (1階大会議室)	15:10-16:00 (一般参加可) メインシンポジウム 「建築家と土着」 (1階大会議室)	
16:00			
17:00	17:00-18:50 (一般参加可) 西山卯三 セミナー (2階特別展示室)	17:00-18:30 (一般参加可) 第1回 建築家の あかりコンペ 2017 一次審査一次審査式 (1階大会議室)	17:00 (一般参加可) ギャラリートーク 中村好文×南宮秀也 「美しい設計、美しい建築」 を語る
18:00	17:45-20:00 (一般参加可) JIA環境会議 (1階大会議室)		
19:00	19:00-21:00 (一般参加可) レセプションパーティー (4階クレメントホール)		
20:00	19:15-21:30 (一般参加可) ウェルカムパーティー 雨天時のアーケード使用の場合は 21:00終了		
21:00	21:30 (一般参加可) バンド大会		
22:00			
展示	大賞・JIA・新人・25年・建築各賞 (4階大会議室)		
	あかりコンペ (2階特別展示室)		
	JIA四国建築賞 (4階大会議室)		
	住宅長型展示 (4階大会議室)		
	協力会員展示 (4階大会議室)		
	西山卯三展示 (2階特別展示室)		
会議	17:00-18:50 全国まちづくり会議 (4階会議室3)	9:00-10:00 JIA-ASA会議 (18階スカイバンケットホール)	
	17:00-18:50 全国地域全会議 (4階会議室6)	10:00-12:00 国際会議International President Forum	
	17:00-18:50 JIA支部長OB会 (4階会議室2・3)	11:00-12:30 建築相談全国会議 (4階会議室1)	
	17:00-20:00 全国保存再生会議 (4階会議室4)	11:00-12:30 短期・資格制度委員会 (4階会議室5)	
		11:00-12:30 法人協力会員サミット (4階和室1・2)	
	11:00-12:30 全国住宅部会連絡会議 (4階大会議室)		
	11:00-12:30 近畿支部役員会		
	11:30-13:30 中国支部役員会		
	11:00-12:30 九州支部役員会		
	18:15-18:45 会長レセプション (18階スカイバンケットホール)		
エクス カーション	●眉山周辺散策ツアー (9/28)	●眉山周辺散策ツアー (9/29)	●徳島コース1 (9/30~10/1) E01 鷗町・祖谷コース
		●徳島コース3 (9/29) E03 「鳴門 増田友也建築巡り」	●徳島コース2 (9/30) E02 「建築家と土着2」ツアー (神山町他)
			●香川コース1 (9/30) E04 「イサムノグチ庭園美術館と香川モダニズム建築」
			●香川コース2 (9/30) E05 「イサムノグチ庭園美術館と讃岐うどん巡り」
			●高知コース1 (9/30) E06 土佐の木造、CLT建築を巡る旅
			●高知コース2 (9/30~10/1) E07 榎原の森と木と木の建築 ～榎原吾の作品と山海の幸をたっぷりと～
会場	あわぎんホール ボードウォーク Music Bar Ricky	あわぎんホール ホテル クレメント ホテル グランドノリス	あわぎんホール ギャラリー ヒラオカ

メインシンポジウムと3つのシンポジウム

講師のみなさん

シンポジウム1 防災



岡村眞 三井所清典 松本純一郎 水野宏 大原泰輔

9月28日(木)
13:00 ~ 14:50
あわぎんホール
(1階大ホール)

日常と非日常のはざま
— 『防災』から『栄統』へ—

シンポジウム2 環境



小玉祐一郎 中村勉 岩崎駿介 川島範久 真田純子

9月28日(木)
15:00 ~ 17:30
あわぎんホール
(1階大ホール)

地域の伝統的知恵から
次世代環境建築を模索する
— 吉野川と空の里集落を事例に考える—



中島靖紀 新居照和

シンポジウム3 AI



彦根茂 小淵祐介

9月29日(金)
9:00 ~ 10:50
あわぎんホール
(1階大ホール)

AIによる建築の未来世界
建築の本質的革新が始まる。

ギャラリートーク

中村好文×雨宮秀也
「集いの設計、
円いの撮影」を語る



中村好文



雨宮秀也

メインシンポジウム

建築家と土着

新たなる建築、居住の世界



原広司 ©鈴木研一 布野修司 山本長水 撮影: GEN INOUE

9月29日(金)
15:10 ~ 18:00
あわぎんホール
(1階大ホール)

9月30日(土)
17:00 ~
ギャラリーヒラオカ